

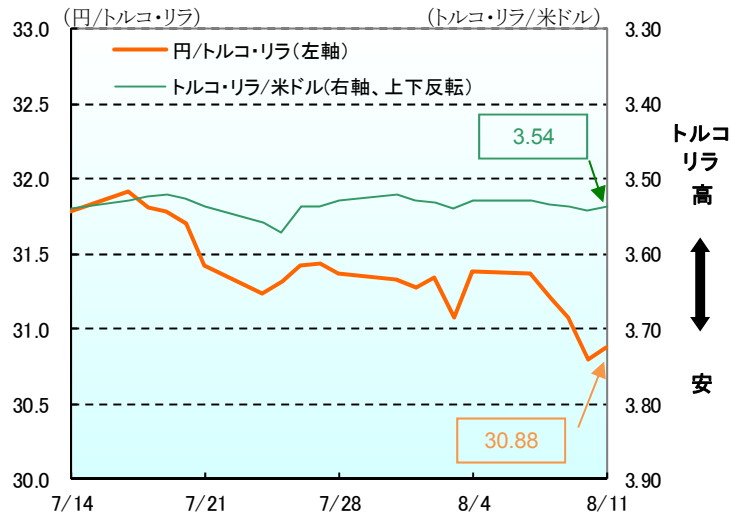
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年8月5日～2017年8月11日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通してみると対米ドルではほぼ横ばいでの推移となった一方、対円では下落しました。またトルコの2年国債金利については、金利上昇となりました。6月の経常収支の赤字は、ほぼ市場予想通りの結果となりました。トルコ・リラについては対米ドルではほぼ横ばいでの推移となったものの、北朝鮮と米国の緊張の高まりを受けて、円高が進んだことから、対円では下落しました。債券市場では北朝鮮情勢の緊迫化を受けて、投資家のリスクセンチメントが悪化したことから、金利は上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年7月14日～2017年8月11日)



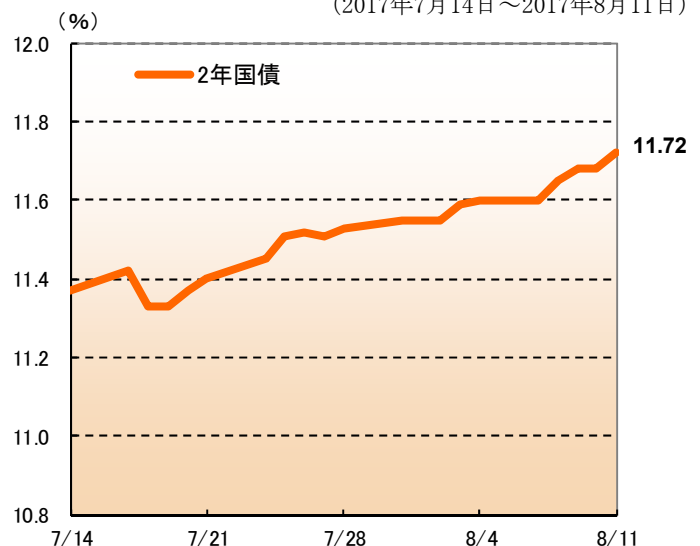
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、特段重要な経済指標の発表は予定されていません。トルコの個別材料は乏しく、当面は米国と北朝鮮の緊張の高まりなどが相場を動かす材料となりやすいと想定されます。両国の緊張が緩和され、投資家のリスクセンチメントが改善する場合には、トルコを含む新興国への資金流入が期待できると考えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年7月14日～2017年8月11日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>